

大学等名 亜細亜大学
 テーマ名 テーマ5：人材交流による産学連携教育
 取組名称 アジア夢カレッジ
 - 4年一貫の産学連携によるキャリア開発中国プログラム -
 取組学部等 全学
 取組担当者 国際関係学部教授（アジア夢カレッジ運営委員長）鯉淵信一
 取組期間 平成16年度～平成17年度
 Webサイト <http://www.asia-u.ac.jp/yume>

取組の概要

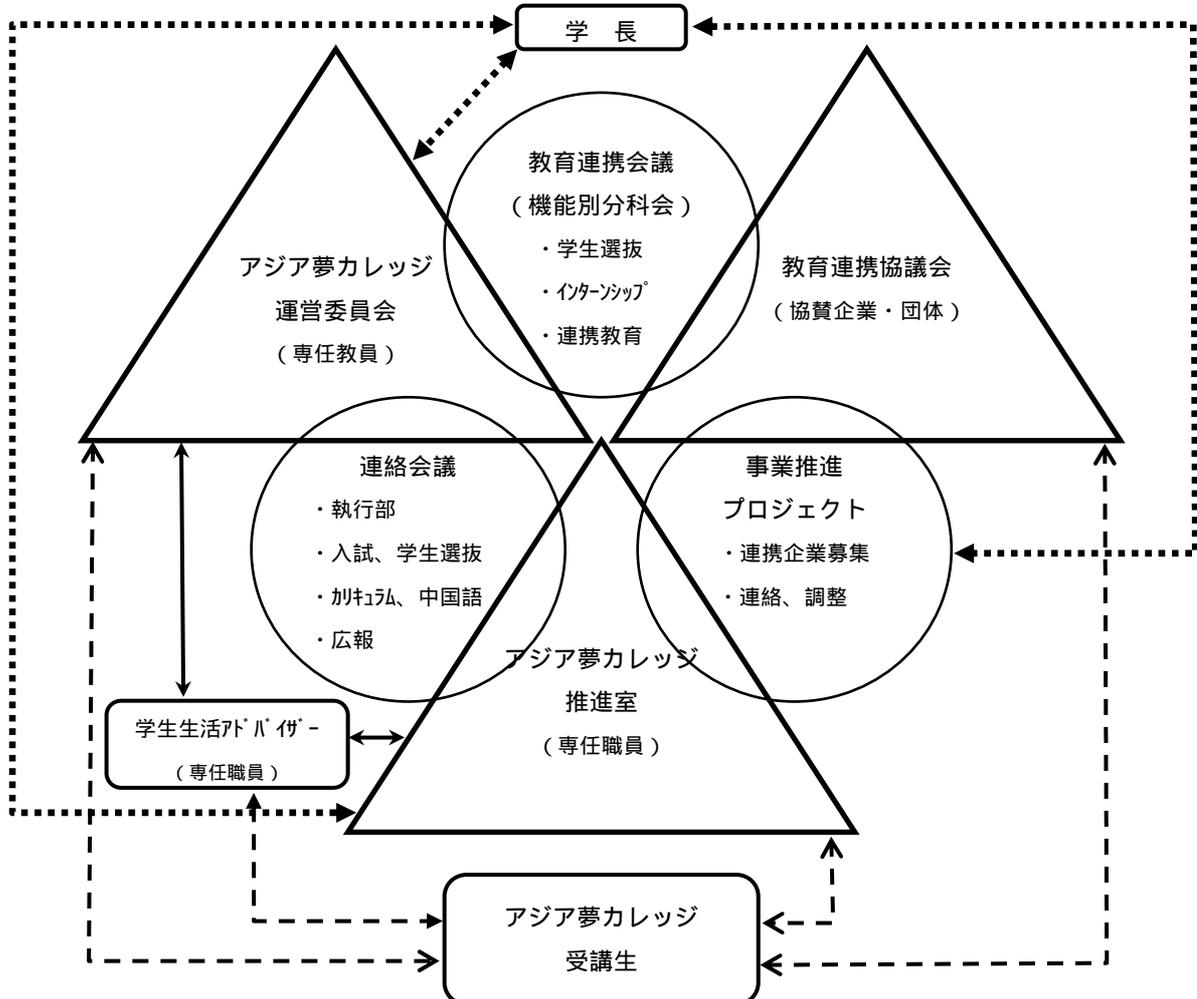
「国際社会とりわけアジア諸国で真に活躍する人材の育成」を教育理念とする本学では、「アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム -」を2004年4月に開講した。これは、産業界等のニーズを踏まえつつ、協賛企業38社（2004年当時）と共同で開発・実施している日本初の4年一貫産学連携教育プログラムである。

アジア夢カレッジでは「日本とアジアの架け橋となり、アジア地域をはじめ世界を舞台として、主にビジネス社会の中核として活躍する人材の育成」を目標とし、所属学部の教育と並行して 入学試験から4年一貫の産学連携による実践的教育、 本学教職員、協賛企業・団体の社員等による複数指導体制と徹底した少人数教育、 中国・大連外国語学院、在大連市連携企業との150日間の現地教育、

在大連市インターンシップ協力企業・大連市人民政府関係機関における5週間の実践教育、を展開している。

実施の経緯・過程

アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - の実施体制



上記の実施体制により、2007年9月現在、協賛企業・団体（国内34社1団体、在中国大連市15社、1団体）と連携し、社会ニーズに合致したプログラムの開発と実践的な教育を行っている。

協賛企業・団体との教育連携は、入学試験、受講者選抜試験における面接審査、教育連携協議会、教育連携会議（機能別分科会）における本プログラムの企画・運営、受講者への指導・助言（科目・研修講師、各種発表・報告会審査、企業研修・調査訪問受け入れ等）が主な内容である。

平成19年9月20日現在のアジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - 受講者は、4年生27名（経営学部6名、法学部7名、国際関係学部14名）、3年生14名（経営学部4名、法学部3名、国際関係学部7名）、2年生6名（経営学部1名、国際関係学部5名）、1年生23名（経営学部8名、法学部4名、国際関係学部11名）の計70名である。また、2年次後期に実施する150日間の中国・大連留学に参加した2005年度以降の累計は、45名である。

目的に対する成果、人材養成面での達成度

日本とアジア、特に日本と中国の架け橋となり、主にビジネス社会の中核として活躍する人材の育成を目標とする本プログラムにおいて、中国（人や社会）を理解し、中国語能力を高めることは重要な教育の柱である。平成19年6月の時点で、日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験の合格状況は、以下のとおりである。評価レベルは、1級～準4級の6区分であり、各級（ ）内のレベル説明は、日本中国語検定協会ホームページによるものである。

準1級（実務に即従事しうる能力の保証：全般的事項のマスター）	2名
2級（実務能力の基礎づくり完成の保証）	8名
3級（自力で応用力を養いうる能力の保証：一般的事項のマスター）	35名
4級（中国語の基礎をマスター）	1名
準4級（中国語学習の準備完了）	1名

中国教育部（日本の文部科学省に相当）国家漢語水平考試委員会が主催するHSK（漢語水平考試：中国語能力認定標準化国家試験）の合格状況は、以下のとおりである。

評価レベルは、11級～1級の11区分であり、中国の大学に正規留学する場合、理工系大学入学の中国語最低レベルは3級、文科系大学入学の中国語最低レベルは6級であり、中国語検定試験とは逆に級数の多い方が高レベルである。

10級（高等B級）	1名	9級（高等C級）	1名		
8級（中等A級）	1名	7級（中等B級）	1名	6級（中等C級）	2名
5級（初等A級）	11名	4級（初等B級）	15名	3級（初等C級）	6名

また、来年3月の卒業見込者のうち、進学・留学等を除く就職希望者25名が採用内定を受けた企業・団体名（業種別、在籍学部別）は、以下のとおりである。

なお、平成19年9月20日現在の就職内定率は、96.0%である。

【卸・小売業】

経営学部 シンギー、パルコ、ヘルスインターメソッド、リコー販売、レリアン

法学部 石川玩具、いちい、ソフトブレン、矢崎総業、リオン・ドールコーポレーション

国際関係学部 伊藤忠プラスチック、ANAケータリングサービス、くらコーポレーション、グリーンホスピタリティーマネジメント、さが美、ミカサ商事、和真

【製造業】

経営学部 オンワード樫山

法学部 コマツユーティリティ

国際関係学部 日本ヴォーグ社

【サービス業】

経営学部 オービック、星野リゾート、リゾートトラスト

法学部 インタートレード、システムフロンティア、横浜ロイヤルパークホテル

国際関係学部 アクセス国際ネットワーク、広友リース、ジェイエイシージャパン、矢野経済研究所

【金融・保険業】

経営学部 損保ジャパンひまわり生命保険、三菱UFJ証券

法学部 藍澤證券

国際関係学部 アコム、第一生命保険、トータル保険サービス、ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

【建設・不動産業】

経営学部 グローバル・ファンデックス

法学部 東急建設

【運輸業】

経営学部 アイ・ロジスティクス

国際関係学部 海外新聞普及、近鉄エクスプレス、国際空港事業

【公務員】

国際関係学部 警視庁

内定企業の三分の二以上が直接中国に進出しており、こうした企業からは、受講生に対する評価とともに本プログラムへの高い評価が寄せられている。

自大学の教育改革への影響、他大学等への波及効果、地域社会等への波及効果

アジア夢カレッジにおける産学連携教育の実践を踏まえ、亜細亜大学では、社会人講師採用の促進、地域産学公連携事業の推進、高校を対象とした『アジア教育奨励賞』（後援：文部科学省、国際協力機構ほか）の創設、日本政策投資銀行と大学院教育、産学連携、技術経営、地域連携、国際展開等の分野における包括連携協定の締結、等の教育改革を実施した。さらに大学院では、2006年度に産学連携のアジア・国際経営戦略研究科を開設し、2008年度に博士後期課程を開設する予定である。また、他大学における本プログラムへの関心も高く、毎年、複数の大学・学部から問い合わせや視察を受け入れており、アジア夢カレッジをモデルとした教育プログラムが開設されている。

学生等の評価

アジア夢カレッジでは、プログラムの改善と効果的な個別指導を行うため、前年度の実施内容について受講者の意識調査を行っている。主な質問項目と回答比率は、以下のとおりである。

質問内容 2005年実施：新2年生対象	そう思う。	どちらとも いえない。	そう思わ ない。
1年次の「基礎ゼミ」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	58.3%	33.3%	8.4%
1年次の「基礎ゼミ」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	72.0%	28.0%	0.0%
1年次の「中国語初級・中級」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	88.0%	4.0%	8.0%
1年次の「中国語初級・中級」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	76.0%	20.0%	4.0%
1年次の「中国研究」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	68.0%	20.0%	12.0%
1年次の「中国研究」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	64.0%	36.0%	0.0%

質問内容 2006年度実施：新2年生対象	そう思う。	どちらとも いえない。	そう思わ ない。
1年次の「中国語初級・中級」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	75.0%	8.0%	17.0%
1年次の「中国語初級・中級」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	67.0%	33.0%	0.0%
1年次の「キャリア開発研修」で研修内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	75.0%	17.0%	8.0%
1年次の「キャリア開発研修」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	67.0%	33.0%	0.0%
1年次の「企業調査」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	92.0%	8.0%	0.0%
1年次の「企業調査」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	84.0%	16.0%	0.0%
アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - に参加したことに満足していますか。	92.0%	8.0%	0.0%

質問内容 2006年度実施：新3年生対象	そう思う。	どちらとも いえない。	そう思わ ない。
2年次留学中の「中国語」で授業内容の質・レベルが想像より高かったと思いますか。	36.0 %	43.0 %	21.0 %
2年次留学中の「中国語」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	57.0 %	32.0 %	11.0 %
中国・大連「海外ビジネス・インターンシップ」での経験を将来の夢に生かせそうですか。	72.0 %	21.0 %	7.0 %
中国・大連「海外ビジネス・インターンシップ」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	86.0 %	7.0 %	7.0 %
留学中の中国人学生との「相部屋生活」は、中国文化の理解につながりましたか。	57.0 %	36.0 %	7.0 %
留学中の中国人学生との「相部屋生活」で自分が成長した・成果が上がったと思いますか。	68.0 %	18.0 %	14.0 %
アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - に参加したことに満足していますか。	64.0 %	21.0 %	11.0 %

上記の意識調査における質問内容 プログラム参加への満足感 で、上級年次生の肯定回答の数値が低下していることについては、学年が上がるとともにそれまで満足していた自分自身に対し、さらに成長しなければならないと考えるようになることや新しい課題に気づくことによるものである。受講者自身が「気づき」・「考え」・「動く」ことの積み重ねにより、能動的かつ積極的な学習姿勢が整い、大きな学習成果が得られている。

学外からの評価

2004年開講以降、アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - は、マスコミやビジネス界から注目を集め、テレビ・ラジオ・インターネットのニュース番組や全国/地方紙・経済/産業紙の各種新聞、経済・ビジネス・教育関係の雑誌など、あらゆる媒体で取り上げられている。特に産学連携教育、中国・大連留学における中国人との共同生活や現地企業でのインターンシップ等により実践的な能力を養う優位性・独創性の高い教育プログラムとして、各方面からの高い評価を受けている。

取組支援期間終了後の展開

現在も中国に進出している日本企業の多くが人材不足の問題を抱えている。アジア夢カレッジ - キャリア開発中国プログラム - では、引き続き、中国の人と社会を真に理解し、日中の橋渡しができる実践的な能力を兼ね備えた人材を育成し、今後さらに高い経済成長の見込まれる中国と向き合う産業界に有為な人材を輩出していきたいと考えている。

本プログラムは、在籍学部のカリキュラムと並行して学ぶ4年一貫の教育プログラムとして、今後も社会ニーズを踏まえた改善を図り、いずれはインドネシアやタイ、韓国、ベトナムなどのアジア諸国にも同様のプログラムを開設し、中国のみならず、文字どおり「アジア夢カレッジ」として、幅広くアジアとの架け橋になる人材を養成していく考えである。

また、中国については、大連市だけでなく上海など別の都市での実施も考えており、2008年度からは1学年の受講者規模を40名程度に拡大することを前提とし、経済学部も含めた全学部の受講者定員を再編する予定である。

その他、2年次後期に実施している大連留学中の「海外ビジネス・インターンシップ」では、これまで中国企業数社を含む日系企業中心の16社で実施してきたが、大連市政府のご理解とご協力もあり、2008年度には中国初の公的機関におけるインターンシップの受け入れが実現する見通しである。